

Southern Cross

2023.5 Vol.71



サザンクロス



●編集発行

公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

〒963-0115 福島県郡山市南二丁目52番地
ビッグバレットふくしま3階

TEL.024-947-4400



Contents

ごあいさつ

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構

理事長 滝田康雄 1

郡山地域テクノポリス推進機構 紹介

●郡山地域テクノポリス推進機構

～ものづくり企業を応援します～

令和5年度の主な事業 2

新事業創出育成

●起業化支援

ものづくりインキュベーションセンターの設置・運営 3

入居者紹介 4

●新製品開発から事業化までを支援

・各種助成事業 5

・日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

郡山サテライトの設置 5

人材育成・研究開発促進

●産学官連携による人材育成

マイスターズ・カレッジ 6

●研究開発・事業化支援

産学官連携

コーディネート・中小企業DX加速化業務 7

起業家育成・起業化支援

●企業連携の促進

郡山テクノポリス地域

戦略的アライアンス形成会議 8

研究開発推進部会 ― 3フォーラムの開催 ― 9

須賀川方部アドホック研究会 11

●広域カンファレンス

広域連携地域産業ネットワーク構築業務 11

●受発注機会の創出

ICTを活用した商談会 11

郡山地域ニューメディア・コミュニティ 事業推進協議会

●産学官連携による人材育成

ICT交流事業 12

情報化人材育成・研修事業 12

ICT高度利用推進事業 13

情報発信事業 13

総会・運営委員会等 13

令和5年度 年間スケジュール(案) 13

テクノインフォメーション

●令和4年度 理事会等の開催報告 14

●令和5年度の主な事業・イベント 14

●イベントへの出展 14

●役員・職員等の紹介 15

ものづくり支援機関として

公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構

理事長 滝田 康雄



関係の皆様には、急激な国際情勢の変化に伴う、原油・原材料等の高騰及び、相次ぐ自然災害により、大変なご苦勞をされておられることと案じておりますとともに、コロナ禍の一日も早い終息を願ってやみません。

令和4年度は、行動制限等様々な制約を受けながらも、技術コーディネーターによる圏域企業への支援243件、日本大学工学部等との連携によるフォーラム・セミナーを10回、その他技術情報の提供、新事業の創出・起業化育成等幅広いテーマで、ものづくり企業への支援に取り組みました。

特に、県内で初めて実施した、「OPEN FACTORY KORIYAMA (オープンファクトリー郡山)」は、市内の高校生などに、身近なものづくり企業の魅力を発信する機会となったとともに、優れた人材の確保・定着につながるとして、高い評価を頂きました。

また、「ものづくりインキュベーションセンター」に入居されていた、(株)アスター様におかれましては、研究成果が結実し、栄えある中小企業長官賞を受賞されました。心よりお祝い申し上げます。

当機構の設立原点は「ものづくり企業への支援を通じて福島県産業の振興を図る」ことであり、今年度におきましても、自治体をはじめ、産業支援機関や産総研「福島再生可能エネルギー研究所」や「ふくしま医療機器開発支援センター」、さらには「福島県ハイテクプラザ」、「福島県発明協会」、県内各大学などとの連携を強化しながら、当機構の特徴や強みを活かした3つの支援を積極的に展開して参ります。

一つには、「郡山地域ものづくりインキュベーションセンター」を核とした起業支援です。

平成18年に日本大学工学部の敷地内に設置以来多くの企業に利用いただき、新製品開発や新分野進出に貢献して参りました。現在の入居企業は、医療機器、ICT、再エネ関連企業など10社に入居いただいております。

今後も、「ものづくり関連企業」に特化したインキュベーション施設として、大学等と連携し新製品の研究開発をする『場』、試作品づくりのための『設備』、経営・技術

面からの『人材』支援、そして、研究開発の成果を広く発表する『機会』を提供し、企業支援を積極的に図ってまいります。

二つには、**技術コーディネーターによる支援**です。当機構の強みである、製造業等を熟知した技術コーディネーターによる、現場感覚の支援が企業訪問件数の増加につながり、受発注案件などの様々な相談増に加え、企業と大学等との連携、企業と企業の連携案件も具体的に進展するなど、大きな強みを発揮しております。今後も、関係機関と連携しマンパワーを活かした支援に力を注いでまいります。

三つには、**産学金官連携による支援**です。連携の実を上げるには、そのとりまとめ役となる存在が必要です。「新事業創出」や「人材育成・研究開発促進」、「起業化支援」などの業務推進にあたって、連携のとりまとめを率先して担うことで、様々な案件が着実に進展するよう引き続き努めてまいります。

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会につきましては、地域ICT進展のために、小中学生を対象としたロボット制作教室の開催、労働力不足解消や働き方改革に繋がるRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)への理解を深めるため、セミナー開催等を通じて企業への更なる普及に努めてまいります。その他、5G、DX(Digital Transformation)、AI、IoT等、新しい環境への対応を心掛け、時代を見据えた事業に取り組んでまいります。

基本財産の運用は、益々厳しさを増しておりますが、選択と集中による効率的組織運営は勿論のこと、関係機関の企業支援策も活用させていただき、ものづくり企業にとって無くてはならない機構であり続けるための仕事をしてまいりますので、関係各位のなご一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

郡山地域
テクノポリス
推進機構

ものづくり企業を
応援します

こんな考えをお持ちの企業の皆様、是非当機構をご利用ください。

- 新分野に挑戦したい
- 人材の育成をしたい
- 技術相談をしたい
- 取引を拡げたい…など

当機構
沿革

1986年(昭和61年)3月に、福島県、テクノポリス圏域6市町村(郡山市、須賀川市、鏡石町、玉川村、石川町、三春町)、圏域企業の基金造成(約15億円)により設立。現在の基金は約11億円。

令和5年度の主な事業

① ものづくりインキュベーションセンター運営

新事業創出育成事業

重要事項

- (1) 研究開発の「場」・「設備」・「人材」による支援 …… P3
(2) 各種助成制度 …… P5

※入居企業10社(令和5年4月1日)



② 人材育成・研究開発促進

技術振興事業

重要事項

- (1) 産学官連携による中核的人材の育成 …… P6
① マイスターズ・カレッジ
【講師】日本大学工学部 教授 他
(2) 研究開発・事業化支援 …… P7
① 研究開発コーディネート事業
② 大学や産業支援機関等との連携



③ 起業家育成・起業化支援

地域技術起業化推進事業

重要事項

- (1) 企業連携(アライアンス)の促進 …… P8
3フォーラムの運営
(コーディネーター:日本大学工学部教授)
● ロボットテクノロジー
● 健康医療福祉産業創生
● サステナブル地域づくり
(2) ICTを核とした産業の振興 …… P11



広 報

- 機関誌「サザンクロス」(年1回)、テクノポリスだより(毎月発行)
- ウェブサイト、メールマガジン
- 各種展示会等への出展



ウェブサイト



テクノポリスだより

起業化支援 **ものづくりインキュベーションセンターの設置・運営**

ものづくり
インキュベーションセンター
建物外観

当機構は、国、福島県、郡山市、日本大学工学部等の助成を受け、平成18年8月に「郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター」を日本大学工学部キャンパス内に建設し、その運営・管理と関係機関との連携を行っています。

当センターは、“ものづくり”による新たな産業の創出を促進するための支援施設で、起業支援室（11室）のほか、研究開発による試作品を製作するための工作機械を備えた「試作センター」や40人収容可能な「会議室」を設置しています。

また、研究開発・事業化支援のための専門家を配置し、様々なサポートを提供するとともに、大学等の知的財産や産業支援ネットワークを活用し、技術シーズの事業化を支援しています。

支援メニュー



起業支援室(実験室タイプ)



起業支援室(事務室タイプ)



試作センター



成果品展示コーナー

概要

研究開発による新製品の創出、起業化、事業化の成功率を高めるため、試作品等を設計・製作する「場」、試作に必要な基本的な「設備」、及び

技術のハード/ソフト両面で支援・コーディネートする「人材」、そして入居者による研究開発の成果を広く発表する「機会」を提供します。

場 place

研究開発の拠点として、低廉な料金で入居でき、24時間365日利用可能な起業支援室（実験室タイプ2室／事務室タイプ9室）、試作センターや会議室、展示コーナーを設置しています。

設備 equipment

「試作センター」には、試作品等の製作に必要な各種工作機械や高精度立体加工用マシニングセンタ等を備えています。また「会議室」には、映像や音響設備等を備えています。

人材 human resources

- インキュベーションマネージャーが入居者等へ研究開発や事業化支援を行うほか、専門家を紹介したり、大学などの知的財産や産業支援ネットワークを活用して、技術シーズの事業化を支援しています。
- 管理員や技術コーディネーターが当施設を管理し、研究開発／技術の起業化に関する支援事業へコーディネートしたり、各種研究会やセミナーを開催するほか、大学や研究機関等と連携して郡山テクノポリス圏域企業によるアライアンス(企業間連携)形成を支援します。

機会 opportunity

入居者等の研究開発事業の成果を訪問企業や各支援機関、金融機関、マスコミ等に広く周知して、起業化・事業化を支援するための「成果発表会の開催」や「展示コーナー」に成果品展示などの機会を提供します。

展示コーナーのご案内

当施設1階にある「展示コーナー」に、入居企業・卒業企業の研究成果品を展示しておりますので、ぜひご覧ください。



①

- ① アルミASTコイル搭載モータ (ASTモータ) …………… (株)アスター
- ② 薄型多機能カード位置測位システム …………… (株)Social Area Networks
- ③ 縦ログ構法(サンプル) …………… 特定非営利活動法人 福島住まい・まちづくりネットワーク
- ④ 動物福祉型実験機材(採決投与針 新型保定器) …………… (株)ハンドレット
- ⑤ 新プラ素材(ライスレジン)を用いた弁財天 …………… (株)ナガヨシ

入居企業



③



④

卒業企業

- ⑥ うめめん UMAIMEN …………… アルファ電子(株)
- ⑦ バスケットワイヤーカテーテル …………… (株)アイアールメディカル工房
- ⑧ 弾性ロボットD-haT(ディーハット) …………… (株)国際情報ネット
- ⑨ 生キャラメル(6種類のフレーバー生キャラメル) …………… (株)向山製作所

⑤



⑥

入居者紹介(令和5年 4月現在)

起業支援室 No.1 株式会社 アスター 代表取締役 本郷 武延 業 種 等 輸送機械関連産業 本社所在地 秋田県横手市 柳田12-3 入 居 日 平成29年4月1日 主な研究開発テーマ 高効率モーターコイルの研究開発 研究開発型企業として、 豊かな自然に恵まれた 秋田から世界初を造り 続け、世界中に届ける ことを目指しています。	起業支援室 No.7 株式会社 ハンドレッド 代表取締役 栢本 直行 業 種 等 実験用・研究用器材の 開発・製造 本社所在地 郡山市大槻町 字西宮前4-12 入 居 日 令和2年12月1日 主な研究開発テーマ 実験動物用福祉配慮型器具の開発・製造 自然と動物、医療福祉、食 を事業の柱とし、より良い 社会につながる製品、サー ビスを開発しています。
起業支援室 No.2 株式会社 グローバル技研 代表取締役 林 英一 業 種 等 環境機器の研究開発 製造販売・建設土木 本社所在地 郡山市田村町 徳定字中河原1-1 日本大学工学部 インキュベーションセンター2号室 入 居 日 令和3年5月24日 主な研究開発テーマ 有機物熱分解装置の研究開発 世界的なCO₂削減問題に 特化した事業展開で、高品 質な技術とサービスの提 供を心掛けていきます。 福島から地球環境を変え ていきます。	起業支援室 No.8 株式会社 ナガヨシ 代表取締役 金子 弘行 業 種 等 射出成形用金型製作及び 射出成形・印刷・組み立て 本社所在地 石川郡石川町大字 新屋敷長土路48 入 居 日 令和4年3月1日 主な研究開発テーマ 受精卵凍結保存容器の研究開発、 新プラ素材(ライスレジン)を用いた製品開発 プラスチック製品を製作す るプロフェッショナルです。 キャラクター製品からコネ クター・精密医療部品まで OK。
起業支援室 No.3 株式会社 benefic 代表取締役 渡邊 潤 業 種 等 情報処理業 本社所在地 山形県山形市中校田 3-5-1シティハイム ソファレアン102号 入 居 日 令和元年6月1日 主な研究開発テーマ アプリやWEBのチェックを行う「第三者検証」の研究開発 人事評価システムの研究開発 アプリケーションやWeb ページの品質保証「第三者 検証」サービスを提供する ほか、きゅうりのスマート 農業について共同研究。	起業支援室 No.9 株式会社 サージカル・スパイン 代表取締役 宮田 重夫 業 種 等 医療機器製造業 本社所在地 東京都新宿区 市谷田町2-19-1 入 居 日 令和5年4月1日 主な研究開発テーマ 整形外科向けチタン合金製 脊椎椎体間固定用インプラント(脊椎)ケージの開発 整形外科向けチタン合金製 脊椎椎体間固定用インプラ ント(脊椎)ケージの国内産製 品の開発を進めています。
起業支援室 No.4 株式会社 Social Area Networks 代表取締役 森田 高明 業 種 等 製造業、情報通信業 本社所在地 東京都中央区日本橋 久松町12-8 ドッドウエルBMSビル7F 入 居 日 平成30年3月1日 主な研究開発テーマ 「コミュニケーションで繋がるFioT(Feeling Internet of Thing)研究開発、 LPWAをベースとした機器の研究開発。カードタイプのIoTデバイスの開発(Jcard) LPWA無線ネットワーク システムを構築するため の機器・ソフトウェアの研 究、開発、販売をしている 会社です。	起業支援室 No.10 リンクエフ 株式会社 代表取締役 田村 慎太郎 業 種 等 地中熱利用システム事業 本社所在地 郡山市町東3-1-B102 入 居 日 令和4年2月1日 主な研究開発テーマ 地中熱利用システム事業 浅層地中熱利用事業組 合員として最適な地中熱 利用システムの提案から 設計まで行います。また 地中熱利用システムの 普及に取り組みます。
起業支援室 No.6 特定非営利活動法人 福島住まい・まちづくりネットワーク 理事 難波 和彦 業 種 等 木材建設業 本社所在地 郡山市希望ヶ丘 1-2 入 居 日 令和4年5月16日 主な研究開発テーマ 木質パネルを利用した構法、縦ログ構法の改良に向けた研究開発 移築や再利用が可能で、 災害時避難所の再利用 や木質の良さを魅せる 縦ログ工法の研究及び 開発をしています。	起業支援室 No.11 一般社団法人 地域おこし協力隊活動推進協会 代表理事 佐藤 恵美 業 種 等 その他(サービス業) 所 在 地 郡山市田村町徳定字 中河原1-1 11号室 入 居 日 令和5年4月1日 主な研究開発テーマ 地域特産品を利用した6次化商品の開発 郡山市特産の鯉の6次化商品 の開発ほか、県内産食材の発信 活動を行います。

新製品開発から事業化までを支援

各種助成事業

テクノポリス圏域内企業やグループ等の研究開発、起業化の取り組みを支援するため、各種助成事業を設けています。

※ 予算の範囲内での助成となりますので、詳しくはお問い合わせください。

- | | | |
|---|----------------------|--|
| 1 | F/S 支援事業 | 研究開発や新事業創出等の成功率を上げるために、開発に着手する前段のフィージビリティスタディ（実現可能性・起業化可能性の調査検討=F/S）を行う場合に経費の一部（助成対象経費の2/3以内で100万円を限度）を助成します。 |
| 2 | 研究開発 助成事業 | 新技術または新製品の開発、生産工程の合理化または製品の高付加価値化、これらに類する技術の高度化に関する研究開発を行う企業、共同研究グループに対して、研究開発に要する経費の一部（助成対象経費の2/3以内で200万円を限度）を助成します。
ただし、再生可能エネルギー、医療福祉機器及びロボットに関する技術高度化に要する研究については300万円を限度とします。 |
| 3 | 地域技術 起業化 助成事業 | 技術革新の進展に即応した技術を製品化・商品化するため、その事業に向けて必要な商品開発、情報収集、市場開拓等の事業を行う企業や共同研究グループに対して起業化に要する経費の一部（助成対象経費の2/3以内で300万円を限度）を助成します。 |



令和4年度 助成決定企業

F/S支援事業

特定非営利活動法人 福島住まい・まちづくりネットワーク

縦ログ構法の普及を目的とした事例調査及び講習会等の実施

【事業概要】

住宅や施設を使用するうちに生じていく経年劣化を調査し、パネルの長期的な性能維持に対応できるよう調査・研究を行います。

また、地場木材の利活用を提案する講習会等を行うことで、縦ログ構法の普及や発展と共に、現地の木材の生産・流通の向上に寄与することができると考えています。

縦ログ構法を採用した有料老人ホームの内観▶



知的財産や産学連携に関する相談窓口

日本大学産官学連携知財センター (NUBIC) 郡山サテライトの設置

当機構では、日本大学と企業との間において行われる共同研究、技術移転等を通じて地域産業の発展・推進に寄与するため、郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター内に**NUBIC郡山サテライト**を設置し、知的財産・産学連携に関する相談に対応しております。

▶日本大学産官学連携知財センター：NUBIC とは

NUBICは、技術に関する研究成果等の民間事業者への移転を推進する機関として、国内外の研究機関はもとより国及び地方公共団体並びに産業界との積極的な連携・協力を行うことにより、本大学の研究活動の活性化、産官学連携の推進、新産業の創出等を通じて社会への貢献を図るとともに、知的財産にかかわる利益相反の調整を行い、もって我が国経済の発展及び学術の進展に寄与することを目的とし設立され、その役割としては

- ① 大学の知的財産を社会に公開し、研究成果を産業界のニーズと結び付け、本大学の研究を活性化させ、新産業を創出する
- ② 企業の技術ニーズを収集し、適切な研究者を紹介して、企業の研究開発を支援する
- ③ 広く経営相談 …などです。

主な相談内容

- 日本大学に属する研究者、研究シーズ、知的財産等の紹介、共同研究、技術指導等の紹介
- 知的財産制度、その運用等に関する情報提供（相談の内容は弁理士法等の法令に抵触しない範囲とし、これを超える場合には弁理士等の専門家を紹介）
- 研究開発支援制度、産学連携支援制度等の紹介
- その他、知的財産・産学連携活動の推進および地域産業の活性化に資すること

※相談頂きました内容に対して、**担当者は守秘義務を負います**ので、御安心ください。

NUBICの特徴

- ▶ 郡山地域の中小企業・個人等、知的財産・産学連携に関心のある方が対象です。
- ▶ 経験豊富な**NUBICのコーディネーター**が相談に対応します。

相談
無料申込先は
コチラ▶

郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
住所：〒963-1165 福島県郡山市田村町徳定字中河原1-1
（日本大学工学部キャンパス内）
電話：024-926-0344 / FAX:024-943-4441
E-mail: monodukuri@nm.net6.or.jp
U R L: <https://www.techno-media.net6.or.jp/incubation/>

産学官連携による人材育成

マイスターズ・カレッジ



産学連携製造技術人材育成事業
マイスターズ・カレッジ 2022

未来を切り開く 人材の育成講座

ものづくり中小企業を対象とした人材育成事業として、日本大学工学部の大学等高等教育機関、産業支援機関等の産学連携により、平成18年度から「マイスターズ・カレッジ」を実施しています。

令和4年度は「未来を切り開く人材の育成」をテーマに、ビジネスに活かすSDGs等、各企業の要望の多かった講座を実施しました。

開催日：8月24日(水)～10月26日(水)のうち10日間

場 所：郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター ほか

参加者：16社 延べ約250名

日 程 ・ カ リ キ ュ ラ ム

ICTを活用した職場改善	8 / 24(水)	日本大学工学部 教授 武藤伸洋 氏
ビジネスに活かすSDGs	9 / 1(木)	(株)ふるサポ 代表取締役 中島達朗 氏
(株)デンソー福島 工場見学	9 / 7(水)	(株)デンソー福島
求人&採用活動を磨く ～適任者採用を叶える!～	9 / 14(水)	アーテム コンサルティング事務所 齋藤貴史 氏
効果的なOJTを実施するための指導法	9 / 21(水)	(株)MxEコンサルティング 代表取締役 松嶋清秀 氏
仕事と人を動かす現場監督者育成	9 / 28(水)	ポリテクセンター福島 藤村伸治 氏 (TWITトレーナー)
福島県ハイテックプラザ視察研修	10 / 5(水)	福島県ハイテックプラザ職員
生産計画と工程管理	10 / 12(水)	効率総合研究所 代表 渡辺修守 氏
品質管理実践	10 / 19(水)	山形大学 シニアインストラクター 横山雄二 氏
成果を上げる業務改善	10 / 26(水)	(株)マネジメントセンター 代表取締役 松本幸雄 氏

各カリキュラムの様子



研究開発・事業化支援

産学金官連携コーディネート・中小企業DX加速化業務

『産学金官連携による新事業・新産業創出を推進、市内企業のDXを推進することを目指して、企業訪問による新たな連携可能な起業の発掘、情報収集を継続的に実施する』ことを目的に、郡山市より委託業務を受託しました。

発注者：郡山市

件名：令和4年度 産学金官連携コーディネート業務

受託期間：令和4年5月2日～令和5年3月24日

実績概要：下記の通り

企業訪問

① 市内企業への訪問 ▶ のべ169件

令和4年度は、主に金属製品製造業、情報サービス・技術サービス業、生産用機械器具製造業、木材製造業の業種の企業を中心に訪問しました。

② 郡山市産業振興事業への参画推進

●KORIYAMA TECH MEET UP

大手企業の開放特許や
ベンチャー企業のシーズとの
マッチング等

実施日：令和4年10月7日(金) 13:30～17:00

実施方法：郡山市立中央公民館

登壇企業：5社／参加企業27社



KORIYAMA TECH MEET-UP

●Open Factory Koriyama 2022

自社工場を公開し、ものづくりの
現場や技術を知ってもらう、
ワークショップ等

10月28日(金)：参加企業7社／市内高校生53名参加

10月29日(土)：工場5社ほか／来場者数のべ314人



Open Factory Koriyama 2022

各種支援機関が一体となった企業支援

合同企業訪問件数 ▶ 71件(令和5年3月24日現在)

郡山市や福島県発明協会をはじめ、各種産業支援機関が合同で企業訪問することで、企業からの相談や課題提案に対し、スピーディな対応やさらなる連携へつなげることができました。

学術研究機関と市内企業とのマッチング

① 研究・産業支援機関等への訪問 ▶ 11回(令和5年3月24日現在)

大学等高等教育機関や研究機関、医療機関等への学術、研究機関へ訪問し、ニーズ等の把握を行うとともに企業等とのマッチングを支援しました。当マッチングによる、研究の更なる加速や製品づくりのヒントへとつなげることができました。

② 産学金官による事業化支援

グルテンフリー麺(うめめん)の
調理実習での活用と学生によるレシピ考案等

- アルファ電子株式会社
- 郡山女子大学
- 郡山市産業創出課



うめめんの調理実習

立位保持測定器の製造

- 日本大学工学部
- (有)柳沼工匠



立位保持測定器



測定器使用方法

③ 市内企業の情報や企業の製品等を掲載したPR動画小冊子の作成

OpenFactoryKoriyamaの様子をまとめたショートムービーを作成。

中小企業DX加速化業務

●業務概要

郡山市内中小製造業のデジタル化を促進し、業務効率化・コスト削減等により企業の競争力向上につなげるとともに、価値創造型企業の創出を支援する。

●業務実績

デジタル技術の導入に意欲のある中小製造業5社に対して、導入や活用に係る専門的な知識と経験を有するアドバイザー等を派遣。

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議



役員会

戦略的アライアンス形成会議は、郡山テクノポリス地域などの中小製造業者が保有する技術力、設備、営業力等の潜在能力を戦略的に活用する組織（アライアンス）を構築することによって、高度な研究開発、新しい受発注及び各種産業振興支援施策の担い手となり、地域産業の活性化を図ることを目的としています。

令和5年3月31日現在、54社が参画しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、研究開発推進部会（フォーラム）を開催しました。

事業体系

令和4年度

形成会議

役員会

事務局

特別講演会

研究開発推進部会

● ロボットテクノロジーフォーラム

コーディネーター：日本大学工学部機械工学科 教授 武藤 伸洋 氏

ボードメンバー企業：東成イービー東北㈱ / ㈱日東紡テクノ

林精器製造㈱ / 福島コンピューターシステム㈱

● 健康医療福祉産業創生フォーラム

コーディネーター：日本大学工学部機械工学科 教授 片岡 則之 氏

ボードメンバー企業：㈱ニチオン / アルファ電子㈱ / 日本全業工業㈱

㈱エヌジェイアイ / ㈱アサカ精機 / ㈲エスク

● サステナブル地域づくりフォーラム

コーディネーター：日本大学工学部土木工学科 教授 中野 和典 氏

ボードメンバー企業：㈱ユアテック 須賀川営業所 / ㈱あおい / ㈱アーバン設計

陸奥テックコンサルタント㈱ / ㈱アルサ / ㈱北斗型枠製作所

受発注推進部会

● 企業製品・研究成果等 発表会（プレゼン会）

研究開発プロジェクト

事業方針

会員企業相互の強みを生かしたアライアンス（連携、協調）を強化することにより、新たに付加価値の創出を図るなど、技術力の向上と産業振興を目指します。

会員企業の技術連携を図り、高度技術や複合技術を必要とする難度の高い特注品・試作品・完成品等を含む受注の確保を目指します。

会員企業の情報交換により、新製品・新商品の開発、ソフトウェアの開発、販売戦略などの成果実現を目指し、新事業の創出と活性化を図ります。

会員企業のアライアンス活動を通して、地域にアライアンス形成会議の知名度アップを図ります。

※当形成会議への入会は随時受け付けています。
詳しくは、テクノポリス推進機構事務局までお問い合わせください。

令和4年度 役員

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議

役員	氏名	企業名	会員役職
最高顧問	高木 茂保	エスケー電子工業㈱	取締役相談役
会長	大槻 努	作田電機㈱	代表取締役社長
副会長	水上 哲夫	㈲ぱすわーど	代表取締役
委員	高橋 晃一	㈱アーバン設計	代表取締役
委員	遠藤 正成	㈱北斗型枠製作所	代表取締役
委員	長谷川 潔	陸奥テックコンサルタント㈱	専務取締役
委員	高畠 伸幸	㈲エスク	代表取締役
委員	神田 雅彦	神田産業㈱	代表取締役
委員	吉田 尚正	㈱吉城光科学	代表取締役社長
委員	小野 真	日本全業工業㈱	常務取締役
委員	益子 邦雄	林精器製造㈱	業務執行取締役
監査	樽川 久夫	アルファ電子㈱	代表取締役
監査	石橋 克郎	石橋ハンプラス㈱	代表取締役

令和5年3月31日現在（順不同・敬称略）

アライアンス形成会議

会議・交流会等の開催

① 役員会

開催日：●第1回：令和4年 7月26日(火) 会場：●第1回：郡山商工会議所
●第2回：令和4年11月14日(火) ●第2回：ものづくりインキュベーションセンター
●第3回：令和5年 2月 8日(水) ●第3回：ホテルハマツ

参加者：当形成会議役員

内 容：●令和4年度 事業計画(案)及び予算(案)について ●令和4年度 役員(案)について
●特別講演会について ●令和4年度 事業計画について ほか

② 総 会

開催日：令和4年7月26日(金) 参加者：12名
会場：郡山商工会議所 内 容：●令和3年度 事業報告及び収支決算報告について
●令和4年度 事業計画(案)及び予算(案)について

③ 特別講演会

当形成会議を広く知ってもらうため、会員以外も聴講できる講演会を開催しています。

〈第1回〉

開催日：令和4年7月26日(金)

会場：郡山商工会議所

参加者：17名

講師：エネルギー・エージェンシーふくしま
チーフコーディネーター 柿崎 隆夫 氏

内 容：「カーボンニュートラル時代のものづくり」

〈第2回〉

開催日：令和5年2月8日(水)

会場：ホテルハマツ

参加者：57名

講師：株式会社DG TAKANO
代表取締役 高野 雅彰 氏

内 容：「デザイン経営による工場変革の道程」



特別講演会
カーボンニュートラル時代のものづくり



特別講演会
デザイン経営による工場変革の道程

アライアンス形成会議

研究開発推進部会

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議では、産学官連携による研究開発体制の構築を目的に各種研究会活動を支援するとともに、大学等との連携により、技術シーズの紹介・提案、企業ニーズの大学等での検証、シーズとニーズのマッチングによる具体的な産学共同研究開発案件の掘り起こしな

どを行っています。

分野別に「サステナブル地域づくりフォーラム」・「健康医療福祉産業創生フォーラム」・「ロボットテクノロジーフォーラム」の3つの研究会が活動しています。

以下、これら研究会の活動状況を紹介します。



健康医療福祉産業創生フォーラム

健康医療福祉産業創生フォーラムでは、医療機器産業の最前線で活躍されている医療従事者、研究者、医療機器メーカー、ものづくり企業を講師にお招きし、医療機器産業の基礎的な知識から最近の動向、医療現場のニーズ、医療

機器開発のポイント、市場へのアプローチの方法等について学ぶ機会を提供することで、医療機器産業への参入支援、医療従事者等とのネットワークの構築、圏域内での医療機器産業の活性化を目指し活動を行っております。

▶ 第10回 健康医療福祉産業創生フォーラム

開催日：令和4年11月24日(木) 13:30~16:00 場 所：会場及びWebセミナー

参加者：16名

第一部 基調講演

「医療機器ベンチャー企業の実例について」

講師：東北大学 流体科学研究所

教授 太田 信 氏

医療機器のベンチャー(カテーテルシミュレータ分野)へのチャレンジを通じて感じた、開発における課題点や解決に向けた糸口などを紹介します。

第二部 パネルディスカッション

「医療機器分野への新規参入や開発における注意点」

コーディネーター：日本大学 工学部 教授 片岡 則之 氏

パネリスト：東北大学 流体科学研究所 教授 太田 信 氏

南相馬市立総合病院 臨床工学科技士長補佐 境原 菊五郎 氏

ふくしま医療機器開発支援センター センター長 小林 利彰 氏

医療器具や医療関連製品等の開発や製造に向けて、各分野から見た現状や事例、課題などを紹介します。





サステナブル地域づくりフォーラム



▶ 第9回 サステナブル 地域づくりフォーラム

開催日: 令和4年11月14日(月)

13時～

場 所: グランシア須賀川 ほか

参加者: 60名

内 容: 下記①②③④

現地視察

「認定こども園 らみどり」

「翠ヶ丘公園」

地域住民の暮らしを支える社会インフラは、高度経済成長期に集中整備された道路や橋、上下水道施設、学校や庁舎等の老朽化が深刻化しています。また、中山間地では限界集落や災害時の孤立といった問題が顕在化することが予想されます。このような背景のもと、このフォーラムでは産学官が密接に連携しながら、地域住民とともに地域の強みや再生可能エネルギーを生かした持続可能で、自立した地域づくりを進めることを目的としています。

①須賀川市立保育施設の 民設民営化について

講 師: 須賀川市教育委員会事務局こども課
課長 板橋 圭寿 氏

②阿武隈の丘を生かす 園舎づくり

講 師: はりゅうウッズスタジオ
齊藤光 氏

③Park-PFI を活用した 翠ヶ丘公園整備事業について

講 師: (株)あおい
代表取締役 菊地大介 氏

④ロハス工学を導入した せせらぎ水路浄化システムの試み

講 師: 日本大学工学部 土木工学科
教授 中野和典 氏



講演の様子



らみどりの現地視察



ロボットテクノロジーフォーラム

日本のものづくりが今後も成長を続け、安定的に付加価値を生み出し続けるため、企業が抱える、「生産性の向上」、「人材不足」などの一助となるようロボットの今後の活用について幅広く考える場を提供し、事業機会を創出することを目的としています。

▶ 令和4年度 ロボットテクノロジーフォーラム

開催日: 令和4年12月12日(月) 13時～

場 所: (株)朝日ラバー 白河工場

参加者: 17名

テーマ: (株)朝日ラバー白河工場見学と

日本大学工学部機械工学科教授 武藤伸洋氏との意見交換



工場見学の様子



武藤教授との意見交換

企業連携の促進

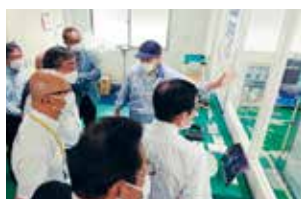
須賀川方部アドホック研究会

会員相互の技術、情報などの交流と幅広い研究を通して、新技術、新商品、新事業の開発と新市場の開拓を促進するとともに、生産・販売面での相互協力を促進し、会員企業の成長発展と地域産業の振興に貢献することを目的に活動しています。会員は郡山地域テクノポリス圏域内(郡山市、須賀川市、三春町、鏡石町、玉川村、石川町)などの企業経営者・役員です。

▶ 須賀川方部アドホック研究会 令和4年度 事業内容

会員数	28名(令和5年3月末現在)
会長	神田雅彦 (神田産業(株) 代表取締役)

活動の様子



4月	定期総会
5月	福島水素エネルギー研究フィールド視察研修
6月	視察研修報告と昨今の電力事情等についての意見交換会
7月	新型コロナウイルスの感染拡大のため中止
8月	講演「伝える技術・伝わる心」講師:水上哲夫氏
9月	アルファ電子(株) 天栄本社、須賀川工場視察研修
10月	安曇野バイオマスエネルギーセンター 及び諏訪圏工業メッセ視察研修
11月	海外視察研修(シンガポール)
12月	海外視察研修(シンガポール)の報告会
1月	講演「ITの進化」講師:水上哲夫氏
2月	須賀川市企業間ネットワークセミナー2023へ参加
3月	令和5年度 事業計画の意見交換会

広域カンファレンス

広域連携地域産業ネットワーク構築業務(福島県業務委託)

業務概要: 県内各地域の支援機関が推薦する企業からオンライン上でプレゼンテーションを行って頂き、その内容を各支援機関のコーディネーターが聞き取りした上で、最も適切と考えられる企業を紹介する取組を行っています。各地域の支援機関がネットワークを組むことで、地域の枠を超えた企業同士のマッチングを効果的に行うことが可能となりました。

受託期間: 令和4年4月1日から 令和5年3月15日まで

第1回

ワークショップ (Web開催)

日時: 令和4年6月29日(水)
先進事例紹介
ガイダンス(39名参加)

第2回

ワークショップ (Web開催)

日時: 令和4年8月31日(水)
企業プレゼンテーション
7社(29名参加)

第3回

ワークショップ (Web開催)

日時: 令和4年11月30日(水)
企業プレゼンテーション: 3社
マッチング状況報告: 36名

第4回

ワークショップ (Web開催)

日時: 令和5年1月25日(水)
マッチング状況報告:
36名参加

取組結果: ●プレゼン企業10社に対して、計29社を紹介。

- 商談中: 4件 / サンプル製造: 5件
- 参加支援機関: 6団体 / 参加自治体: 12団体

取組事例: アルミ鋳物を得意とするM社では、これまで県外企業の下請けとして船舶部品を製造してきましたが、輸送コスト削減や発注者からの様々な要望に速やかに対応するために、県内での連携先確保が大きな課題でした。今回のマッチングによって、相双地区からへら絞り加工のできる企業の紹介があり、サンプル製造等を経て連携先と共同して元受けとしての受注が可能となりました。



ワークショップ(Web開催)

受発注機会の創出

ICTを活用した商談会(Linkers / J-GoodTech)

リンカーズ株式会社と締結した覚書に基づき、Linkers(リンカーズ)を通じた大手発注企業からの技術探索依頼に対して、当機構コーディネーターによる目利きにより、内容に応じて圏域企業に情報提供し、新規取引先の成立を支援している。

併せて、独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営を行うJ-GoodTech(ジェグテック)に令和2年3月から支援機関会員登録を行い、上記同様に圏域内企業に情報提供を行うこととしている。

発注案件に係る
紹介企業数 **6件**

令和4年4月～
令和5年3月31日

産学官連携による人材育成

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

テクノポリス圏域におけるICT化を支援し、高度情報化の推進を図るため、圏域市町村、各種団体、大学や専門学校等と連携し、令和4年度は以下の事業を行った。

ICT交流事業

▶ 交流事業(展示会で令和3年度作品を紹介発表)

出展 REIFふくしま / こおりやま産業博 / メディカルクリエーションふくしま

投影内容 ハッカソン2021 入賞3作品 ●イートオール
●ゴミ捨て場見守るくん
●VRリズムゲーム型フィットネスアプリ

情報化人材育成・研修事業

デジタル技術を活用し、高い付加価値を創造できる高度な人材の育成や、ICT活用による地域の課題解決、ICTリテラシーの向上、情報セキュリティの啓蒙に資する事業を行った。

▶ 情報化人材育成事業

① Connect 2022 in Koriyama, with UDC(ハッカソン)

日時：令和4年11月19日(土)～20日(日) 会場：郡山市民交流プラザ大会議室 参加者：40名／7チーム

▶ 入賞チーム名 および アプリケーション名



郡山市長賞

所 属：福島情報処理センター
チーム名：young FIC

アプリ名 鯉カメラ

人の顔を鯉の画像に差し替え、SNSに写真を投稿できるサービス。ターゲットはSNSを利用する若年層で、顔認識で画像を上から重ねた写真を撮影できるという「面白さ」で利用価値を与える。

郡山高度情報化システム研究会賞

所 属：テクノアカデミー郡山
チーム名：Sugaken2022

アプリ名 鯉に恋する商店街 商店街情報アプリ。

商店街や鯉について気軽に知ることができるアプリ。利用者は店舗情報やハッシュタグ検索で店舗情報や投稿がわかる。鯉に鯉する郡山専用ページで加盟店情報も知ることができる。

ニューコメ賞

所 属：丑之日プロジェクト
チーム名：丑之日プロジェクト

アプリ名 試食にKOI

鯉料理を試食できるお店をリアルタイムで教えてくれるアプリ。鯉を食べるきっかけを広く提供することで、鯉料理に恋する可能性に期待する。

マイクロソフト賞

所 属：エフコム+WiZ
チーム名：鯉っちゃう？ 制作委員会

アプリ名 鯉のテーマパーク「鯉っちゃう？」

鯉について知る、食べる、楽しむを「メタバース」上に表現したサービス。養鯉場等を動画表示したり、鯉メニューのある飲食店検索やレシピ検索機能、市等が実施中のキャンペーンをメタバース上の案内板に表示する。

優秀賞

所 属：福島コンピューターシステム
チーム名：鯉するFCS

アプリ名 鯉ログ

鯉料理を取り扱う店舗を検索するアプリ。アプリ全体デザインに鯉のイメージを使用するほか、鯉や郡山市のアピールにつなげるため、鯉の歴史といったページを用意し、そこから郡山のHPと郡山市が持つ鯉の公式HPに遷移するボタンを設置。また、利用店舗で迷った際の補助機能として店舗比較画面を用意。2店舗選択し、それぞれの店舗の価格や現在地からの距離、口コミ数などを一覧表示し、簡易的に比較できるようにした。

奨励賞

所 属：WiZ-A
チーム名：WiZ-A

アプリ名 鯉恋

鯉を食べてもらうことと、人と人が出会うことを同時に目指す。

優良賞

所 属：WiZ-B
チーム名：WiZ-B

アプリ名 鯉クイズ

最初に鯉の画像を1枚表示し、次画面で3枚の画像を表示して、先程の鯉の模様をあててもらうアプリ。記憶力の低下抑制が期待でき、認知症や若年性アルツハイマー病認知症などの予防に期待。

※なおマイクロソフト賞を受賞したエフコム+WiZ(「鯉のテーマパーク「鯉っちゃう？」」)が、「オープンガバメント推進協議会賞 銅賞」を受賞した。

② ロボット制作教室(福島大学 高橋研究室協力)

日時：令和4年8月21日(日) 9:30～15:00 会場：tette(須賀川市民交流センター) 参加者：5組／10名

研究室がオリジナルで開発制作した動くロボットを制作する教室。子ども達は数多くの抵抗等の部品を基板にはんだ付けしたり、組み立てて完成。当日は同研究室大学生等2名がアシスタントを務め、動作不良のアクシデントにもきめ細やかに対応して、参加者全員が満足のいく結果となった

ICT高度利用推進事業

産業界を中心に、高等教育機関や自治体等と連携し、圏域におけるICTの高度利用促進を図る各種事業を行った。

- ▶ **DXセミナーの開催** 中小企業様向けに、少ない費用で簡単にすぐにつかえるサービスを紹介し、社内の業務改善やコスト削減に活用を目的とする。

第1回 DXセミナー …【オンライン】

日 時：令和4年7月20日(水)
14:00～15:30
内 容：ウェブサイトやメールを利用する際の注意点や各種サイバーテロ事例。セキュリティ対策情報を紹介。
講 師：エフスタ!! 影山 哲也 氏
参加者：7名

第2回 DXセミナー

日 時：令和4年9月9日(金)
14:00～16:00
内 容：自社のデジタル活用度を知ろう
講 師：ITコーディネーター 加藤 昌宏 氏
参加者：6名

第3回 DXセミナー …【ハイブリッド開催】

日 時：令和4年9月16日(金)
14:00～16:00
内 容：電子帳簿保存法改正及び消費税インボイス制度と対策案の紹介。
講 師：ITコーディネーター 加藤 昌宏 氏
参加者：27名

第4回 DXセミナー

日 時：令和4年12月14日(水)
14:00～16:00
内 容：デジタル技術を活用した会津地域活性化の事例紹介と将来への挑戦。
講 師：西会津町最高デジタル責任者 藤井 靖史 氏
参加者：30名

▶ マイクロソフト セミナー

日 時：令和4年11月19日(土)
会 場：郡山市民交流プラザ 大会議室
内 容：DX推進に向けた内製化のススメ
講 師：マイクロソフト株式会社 デジタルトランスフォーメーション事業本部 畠山 大有 氏
参加者：40名

情報発信事業 メールマガジン▶配信者数:604人／配信回数:16回

ホームページの運営・更新、メールマガジンの配信、SNSなどを通じて、当協議会やテクノポリス推進機構の主催するセミナー

や、各種補助事業、ICTに関するシーズ・ニーズの情報発信、最新情報・技術情報の紹介など、積極的な情報収集・提供に努めた。

総 会 等

監 査

日 時：令和4年4月13日(水) 13:30～
会 場：郡山市役所
内 容：令和3年度 事業報告・決算書の監査

総 会

日 時：令和4年5月12日(木) 14:00～
会 場：郡山商工会議所 出席者:16名
会 場：令和3年度 事業報告・収支決算書
令和4年度 事業計画(案)・収支予算(案)の件
令和4年度 委員・役員の内
ボードメンバー委員補充選任

ボードメンバー会議

第1回【ハイブリッド開催】

日 時：令和4年6月15日(水) 14:00～
会 場：ものづくりインキュベーションセンター
及びZOOMによるオンライン開催
出席者：14名(うちオブザーバー1名、事務局3名)
内 容：総会報告、ボードメンバー委員補充選任の件、
令和4年度 年間スケジュール

第2回

日 時：令和4年10月26日(水) 14:00～
会 場：エフコムドリームラボ(郡山市熱海町)
出席者：11名(うちオブザーバー1名、事務局4名)
内 容：令和4年度 事業実施状況や
各社の取り組み、情報提供等

第3回【オンライン】

日 時：令和5年2月15日(水) 14:00～
会 場：ものづくりインキュベーションセンター
出席者：14名(うちオブザーバー3名、事務局4名)
内 容：Connect2022「ハッカソン」等事業報告
並びに令和5年度 事業計画(案)について

令和5年度 年間スケジュール(案)

4月

- 令和4年度 決算監査…………… 4/12(水)

5月

- 令和5年度 総会
(郡山商工会議所会館 6F中ホールB) …… 5/9(火)

6月

- 第1回 ボードメンバー会議 …… 6月中旬

9月

- DXセミナー①
(企業における情報発信手段について/WebやSNS等)

10月

- 産業博、REIF等 展示会への出展
- 第2回 ボードメンバー会議 …… 10月中旬

11月

- メディカルクリエーションふくしまへの出展… 11/1・2
- Connect2023 ハッカソン
(会場:ビッグアイ 日帰り2日間) …… 11/25・26

12月

- DXセミナー②
(仮:データ活用と企業経営について) …… 12月中旬

2月

- 第3回 ボードメンバー会議 …… 2月中旬

3月

- アーバンデータチャレンジ

(公財) 郡山地域テクノポリス推進機構

令和4年度 理事会等の開催報告

理事会

第1回 日時: 令和4年6月13日(月)
場所: インキュベーションセンター
内容: 令和3年度 事業報告及び決算 ほか

第2回 日時: 令和4年6月28日(火)
場所: 決議の省略の方法による開催(書面)
内容: 理事長、常務理事の選定

第3回 日時: 令和5年3月24日(金)
場所: 郡山商工会議所会館
内容: 令和4年度 業務執行状況及び補正予算
令和5年度 事業計画及び当初予算
事務局長任免の承認
評議員会招集(役員等補充選任)

監査会

日時: 令和4年5月25日(水)
場所: ビッグパレットふくしま
内容: 令和3年度 事業及び決算

評議員会

第1回 日時: 令和4年5月9日(月)
場所: 決議の省略の方法による開催(書面)
内容: 補充評議員3名の選任

第2回 日時: 令和4年6月28日(火)
場所: インキュベーションセンター
内容: 令和3年度 事業報告及び決算
令和4年度 事業計画及び当初予算
理事・監事・評議員(任期満了)の選任

(公財) 郡山地域テクノポリス推進機構

令和5年度の主な事業・イベント

5月 ● 監査会(5/24)
● INC入居者審査委員会

6月 ● アライアンス役員会総会・プレゼン・特別講演会等
● 理事会(決算)(6/13)
● 評議員会(決算)(6/28)

8月 ● 技術等審査委員会
● マイスターズ・カレッジ(8月～11月)

10月 ● アライアンス・企業製品・研究成果等発表会
● REIFふくしま
● 健康医療福祉創生フォーラム(10月又は11月)
● INC入居者審査委員会

11月 ● 産学官連携フォーラム
● メディカルクリエーションふくしま

2月 ● INC入居者審査委員会

3月 ● 理事会(予算)

(公財) 郡山地域テクノポリス推進機構

イベントへの出展

県内外から多くの来場者が見込まれるイベントに出展し、当機構が取り組んでいる事業を紹介、ものづくりインキュベーションセンターに入居する企業の成果発表の場としても活用させて頂きました。4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上でリアル開催となりました。

すかがわ商工フェスタ
& 食の感謝祭

開催日: 令和4年10月1日(土)
会場: 須賀川市民交流センター
tette(テッテ)
参加者数: 10,000名

第11回 ふくしま再生可能エネルギー産業フェア
(REIFふくしま)

×ふくしまゼロカーボンDAY! 2022

開催日: 令和4年10月13日(木)～15日(土)
会場: ビッグパレットふくしま
参加者数: 6,512名

こおりやま産業博2022

開催日: 令和4年10月21日(金)～23日(日)
会場: ビッグパレットふくしま
参加者数: 14,007名

メディカルクリエーションふくしま2022

開催日: 令和4年10月27日(木)～28日(金)
会場: ビッグパレットふくしま
参加者数: 3,716名

役員・職員等の紹介

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 役員

任期:令和4年6月28日～令和6年6月 定時評議員会

理事長	滝田 康雄	郡山商工会議所 会頭
常務理事	福内 浩明	郡山商工会議所 専務理事
理事	小野 真	日本全業工業(株) 常務取締役
理事	澁谷 重二	郡山地区商工会広域協議会 会長 富久山町商工 会長
理事	岩谷 幸雄	郡山地域テクノポリス推進協議会 副会長 玉川村 商工会 会長
理事	根本 修克	日本大学 工学部長
理事	長橋 良隆	福島大学共生システム理工学類 長
理事	菊地 勝弘	鏡石町 産業課 長
理事	佐藤 康博	石川町 企画商工課 長
理事	塩田 敦	玉川村 産業振興課 長
監事	片桐 久	(株)大東銀行 執行役員本店営業部長兼深沢支店 長
監事	嶋原 健二	三春町 産業課 長

令和5年3月31日現在(順不同・敬称略)

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 評議員

任期:令和4年6月28日～令和8年6月 定時評議員会

評議員	伊藤 清郷	郡山商工会議所 副会長
評議員	山田 慶太	郡山商工会議所 工業部 会長
評議員	神田 雅彦	須賀川商工会議所 工業部 副会長
評議員	岩城 一郎	日本大学工学部 工学研究所 長
評議員	七海 重貴	(株)東邦銀行 常務取締役郡山営業部 長
評議員	白岩 靖彦	東北電力ネットワーク(株) 郡山電力センター 所 長
評議員	松崎 浩司	(公財)福島県産業振興センター 理 事 長
評議員	高橋 和司	福島県商工労働部 再生可能エネルギー産業推進監兼次 長
評議員	佐久間貴士	須賀川市 経済環境部 長
評議員	伊坂 透	郡山市 産業観光部次長兼産業創出課 長

令和5年3月31日現在(順不同・敬称略)

ACCESS

- 福島空港から郡山駅まで(バスで約35分)
- 郡山駅から南へ3km(車で約10分、バスで約20分)
- 東北自動車道・郡山南インターから東へ約6km(車で約10分)



お問い合わせ／ご相談はお気軽にご連絡ください

編集／発行

公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

〒963-0115 福島県郡山市南二丁目52番地 ビッグパレットふくしま3階

TEL : 024-947-4400

FAX : 024-947-4475

E-mail : techno@nm.net6.or.jp

ウェブサイト



メールマガジン



郡山地域ニューメディア・コミュニティ 事業推進協議会 委員

会 長	滝田 康雄	(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 理事長
副会長	根本 修克	日本大学 工学部長
副会長	小暮 憲一	郡山商工会議所 情報文化部 会長
委 員	渋谷 重二	郡山地区商工会広域協議会 会長
委 員	武居 厚志	郡山商工会議所 工業委員長
委 員	一井 朋和	(株)NTT東日本 福島支店 郡山営業支店 長
委 員	瓜生 利典	(株)エフコム 代表取締役副会長
委 員	水上 哲夫	(有)ばすわーど 代表取締役
委 員	橋本 晃一	福島県 企画調整部 デジタル変革課 長 (新任)
委 員	小松 利顕	福島県 商工労働部 産業振興課 長
委 員	栗花 信介	福島県 ハイテクプラザ 副所 長
委 員	佐藤 達也	郡山市 政策開発部 長 (新任)
委 員	橋本 喜宏	鏡石町 企画財政課 長
委 員	福内 浩明	(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 常務理事
監 事	桜井 忠弘	郡山市 産業観光部 長 (新任)
監 事	山田 剛	郡山商工会議所 開発事業部 長

令和5年4月1日現在(順不同・敬称略)

郡山地域ニューメディア・コミュニティ 事業推進協議会 ボードメンバー

一井 朋和	NTT東日本 福島支店 郡山営業支店 長	(協議会委員)
水上 哲夫	(有)ばすわーど 代表取締役	(協議会委員)
大槻 努	大槻電気通信(株) 代表取締役	
二瓶 嘉蔵	(株)福島情報処理センター 都市行政システム部 マネージャー	
二瓶 幸恵	(株)エフコム 常務取締役	
新藤 純也	(株)コンピューターシステムハウス テクニカルマネージャー	
阿部 一則	国際情報工科自動車大学校 副校長	
吉田 正隆	プリマックス(株) 特販営業担当	
佐藤 賢二	エリア・マークス(株) 代表取締役	
鈴木 朱美	福島リビング新聞社 メディアデザイン本部 本部長(統括編集長)	
菅家 元志	(株)プレノバージョン 代表取締役社長	
大塚 英明	(株)東邦銀行 郡山営業部 上席副部長	
二瓶 浩之	郡山市政策開発部DX戦略課 長	オブザーバー
橋本 喜宏	鏡石町企画財政課 長	オブザーバー

令和5年4月1日現在(順不同・敬称略)

郡山地域ニューメディア・コミュニティ 事業推進協議会 事務局

塚本 龍憲	事務局長兼事業部長
古川 智志	企画管理課 長
筋内 一男	技術コーディネーター
久保田江美	総務部情報化支援担当主事

令和5年4月1日現在(順不同・敬称略)

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 事務局

常務理事	福内 浩明	郡山商工会議所 出向
事務局長兼事業部長	塚本 龍憲	郡山商工会議所 出向
事務局次長兼総務部長	後藤 隆	福島県OB
企画管理課 長	古川 智志	郡山市派遣
技術振興課 長	根本 久志	須賀川市派遣
管理員兼技術コーディネーター	佐藤 喜幸	
技術コーディネーター	佐藤 正弘	
技術コーディネーター	筋内 一男	
技術コーディネーター	内田 吉孝	インキュベーションマネージャー
技術コーディネーター	大河原 薫	
技術コーディネーター	吉田 晃浩	
総務担当	鈴木 夢子	
情報化支援担当	久保田江美	(郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会)

令和5年4月1日現在



この印刷物は、FSC®認証紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。
紙へリサイクル可。

